

TOREK 自然農法 ホットニュース

第 265 号 2020. 5. 25

健康な地球に生きる健全な人間の姿を求める「岡田茂吉師」が提唱した「自然農法の原理」に基づき、「無施肥無農薬栽培」を通し、生産、流通、消費者がお互いの現場を理解し合える、安全で豊かな「食」の普及に取り組んでいます。

お茶摘み - 市川生産グループ -

静岡県の伊東市宇佐美で5月8日、伊豆の国市長原では5月20日にお茶摘みを行いました。

8日は晴天で湿度も少なく、絶好の茶摘み日和でした。緊急事態宣言の中、果たして茶摘みができるのか、心配だったのですが、なんとか行うことができ、有り難く、精一杯させていただきました。

20日は天気予報は晴れでしたが、畑に向かう途中、雨が降ったりやんだり、しかし畑に着くころには天気が良くなり、無事に摘むことができました。本当に感謝です！

今回の長者原の茶摘みは、何年か前に台刈りした在来の木も育ち、芽数が増え、具合良くなってきているので、先々を考えて機械仕立てにするため、2人用茶摘み機を使いました。1人用茶摘み機と合わせると、90%機械刈りでしたので、茶葉の選別に人手と時間がかかりましたが、今後、茶木がより成長し、畝が良くなってくれば、選別の手間はかからなくなってくると思います。

緊急事態宣言の折、いつもの年より少人数での茶摘みでしたが、宇佐美91.7kg、長者原135.7kgの収穫でした。先日も、自然農法のほうじ茶を毎日飲むようにしたら、お小水の回数が増え、体調が良くなってきているという方の有り難いお話をお聞きしました。今年のお茶はどんなお味になるか楽しみです！

(市川生産グループ: 飯塚友子)



宇佐美



長者原

無事開催！井上百貨店販売

毎月1週間ずつ、無施肥無農薬栽培の販売会が行われている長野県松本市の井上百貨店も、新型コロナウイルス感染拡大防止による緊急事態宣言により、全館休館となりました。

食料品売場のみは営業継続され、地域をまたいでの移動に伴う業者の物産展等が中止される中、無施肥無農薬栽培販売会は、松本市在住のスタッフのみの接客が条件で、予定通りの日程(5/6~5/12)で開催されることになりました。ただし、試飲試食は一切NG、お客様の対応時間も最小限にと、感染防止対策として、百貨店からの厳しい指導の中、行われました。

井上百貨店での販売会も7年目に突入し、59回目の販売会です。毎回楽しみにされる方も多く、このように世界中が自粛生活で大変なときにも、そのお客様のお気持ちを裏切ることなく、無施肥無農薬栽培のお品物と、岡田茂吉師の自然農法のお伝えをお届けできること、心から幸せを感じました。



お客様の中には、販売会で購入した品物を大切に家庭に置いておき、体調が悪いときに召し上がることで、身体だけでなく、精神的にも落ち着いたという体験から、常備薬ならぬ常備フードとして、大切に毎月購入される方もいらっしゃいます。また、東京のお客様が、外出自粛、在宅ワークが続く生活へのお供にしたいと、写真で商品を注文、リモートショッピングをされ、百貨店より宅配に乗せ、翌日には東京に到着し喜んでいただきました。

今回、初めて無施肥無農薬栽培を知ったという、アレルギーのお子さんのママさんは、初日に話を聞かれ、購入され、数日後に再来店。とてもおいしかったと、新たにお米など違う品物を購入され、自然農法の食への感動を深められた方もいらっしゃいました。

販売会に立たせていただいていると、お客様お1人お1人の、自然農法の品物を求められる想いや、喜びの内側にある様々なドラマを伺うことができ、それらを共有させていただけることは、スタッフとして何より幸せなことです。継続して自然農法の素晴らしさをお伝えできる場所があること、楽しみにされる多くのお客様が足を運んでくださること、そして生産者の皆様のたゆまぬご努力の賜物の品々が百貨店に毎回届き、陳列できることへ、改めて感謝させていただいた、全国緊急事態宣言渦中の5月販売会でした。(ジョリフィーユ: 宮澤弥生)



わたしの自然農法活動♪

千葉県 小4年 内藤日結実



小学1年生のときから毎年、夏の自然農法体験学習に参加させていただいています。3年生の夏は、長野木島平の堀さんから、うるち米ともち米の稲の見分け方を教えてもらいました。もち米は、穂先がピンク色ですが、うるち米は白です。

群馬の中島さんのお話を聞いて、農薬を使わずに、りんごを育てるのは大変なことだとわかりました。年下の友達と仲良くなって、今までで一番楽しかったです。3日間、お食事はほとんどが自然農法の食材で、ありがたいと思いました。

体験学習が終わって帰るとき、車の中で、お母さんが「夕飯は外食しよう」と言いました。1、2年のときは、体験学習の帰りに、わたしが「お腹がすいた」と言っていたので、今回は外食しようとして家族で相談していたそうです。わたしが「家で自然米が食べたい」と言ったので、みんなびっくりしていました。

わたしは家でいつも自然米や納豆、卵、みそ、野菜など、自然農法の食べものを食べています。書道教室では、2時間くらい書きつづけることもあります。書道の先生から、「1枚1枚集中して書けるのは、食べものがいいからなのかもね」と言われました。

わたしは時々、船橋グループの畑に連れていってもらいます。じゃがいもや大根の収穫のお手伝いをしました。これからもお手伝いをがんばりたいです。

世界に自然農法が広まって、多くの人が自然農法の作物を食べられるようになったら、戦争や犯罪もなくなるし、みんなが元気に暮らせるから、そうなってほしいです。これからも、自然農法のことをたくさん勉強したいです。



昨年6月30日 鎌ヶ谷の畑にも参加 (左下が内藤さん)

お知らせ (変更の可能性あります)

★ 自然農法頒布会 6月28日(日) 鎌ヶ谷会場 11:00~15:00 (売切れ次第終了)

お問い合わせ先: 編集部 針貝 FAX: 03-3369-3324 e-mail: naturefarming@torek.jp
TOREK活動のホームページもご覧ください。 <http://www.torek.jp>